

令和2年6月23日
県土整備部港湾課
043-223-3836
環境生活部自然保護課
生物多様性センター
043-265-3601

千葉港内におけるヒアリの確認について

6月19日に千葉港千葉中央地区の民有棧橋に停泊中の船内において発見されたアリについて、専門家による種の同定の結果、6月22日に特定外来生物であるヒアリと確認され、千葉市により別紙のとおり報道発表されましたのでお知らせします。

県及び千葉市では、ヒアリが確認された船内と積み下ろしを行った一部の積み荷に対し6月19日に殺虫エサ（ベイト剤）及び粘着トラップを設置し対応したところです。

県では、発生地点付近の公共埠頭においてヒアリ緊急点検を実施するとともに、千葉港保安委員会等を通じて周辺事業者に対し注意喚起をしていきます。

1 県の対応状況

6月19日、県生物多様性センターが千葉市経由で物流業者から、資材の積み下ろしのために停泊中の船内でヒアリを発見したとの情報を受け、サンプルを入手。ヒアリ類の可能性が高いと判断されたため、関東地方環境事務所に連絡しました。

同日、千葉市と協力し船内と積み下ろしを行った一部の積み荷への粘着トラップ及び殺虫エサ（ベイト剤）の設置を行いました。

2 今後の対応について

千葉市と協力して粘着トラップによる調査を継続するとともに、発生地点付近の公共埠頭において、ヒアリ緊急点検を実施します。

また、周辺事業者に対して、千葉港保安委員会等を通じて注意喚起を行います。

3 その他

本件に関する現場での取材は、地権者や関係者の方々へ影響を及ぼすおそれがあること及び、ヒアリの拡散防止の観点から厳に慎むようお願いいたします。

○今回確認されたヒアリ



写真：環境省提供

○今回ヒアリが発見された場所



出典：ちば情報マップ

(参考) ヒアリについて [環境省作成資料]

1. 生態について

- 原産地：南米
- 侵入状況：米国をはじめ、中国や台湾など環太平洋諸国に分布が急速に広がっている。日本では、現在未定着。
- 亜熱帯～暖温帯に生息し、草地など比較的開けた環境を好む。土で直径25～60cm、高さ15～50cmのドーム状のアリ塚を作る。雑食性で、節足動物、小型脊椎動物、樹液、花蜜などを餌とする。

2. 懸念される影響

- (1) 生態系に関わる被害：他種のアリと競合し駆逐するおそれがある。極めて攻撃的で、節足動物のほか爬虫類、小型哺乳類をも集団で攻撃し捕食することが知られ、鳥類の営巣・雛の生育に影響を及ぼした例もある。
- (2) 農林水産業にかかわる影響：牛、馬、鶏など家畜への死傷被害
- (3) 人体に関わる被害：刺されると、アルカロイド系の強い毒による痛みやかゆみ、発熱、じんましん、激しい動悸等の症状が引き起こされる。また、アレルギー性のショックを起こすことがある。